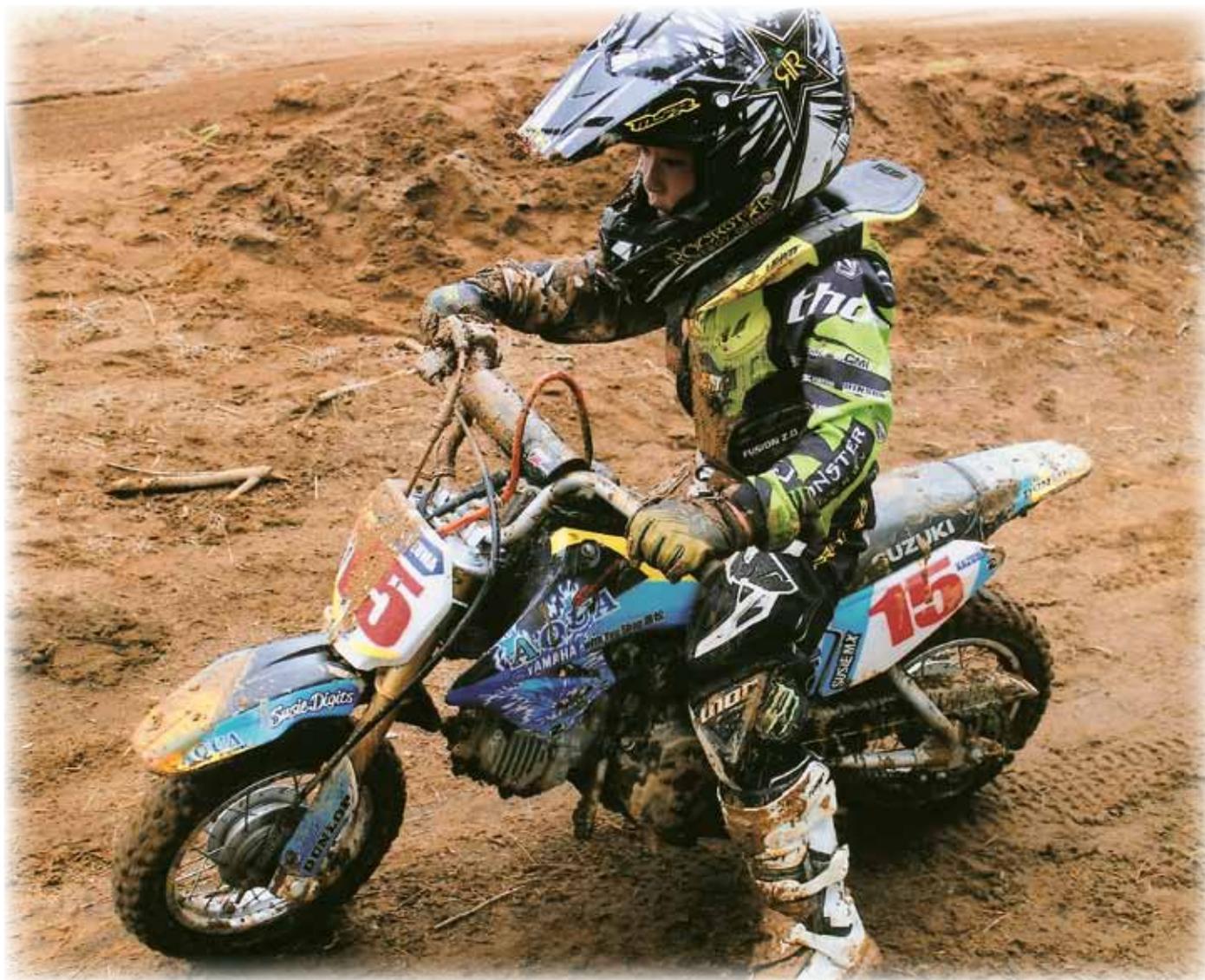




懸 かけはし 橋 ぎかいだより

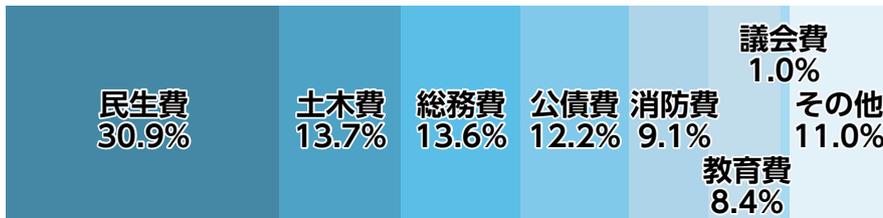


1位を目指せ！モトクロスレース（写真提供：川口一仁さん）

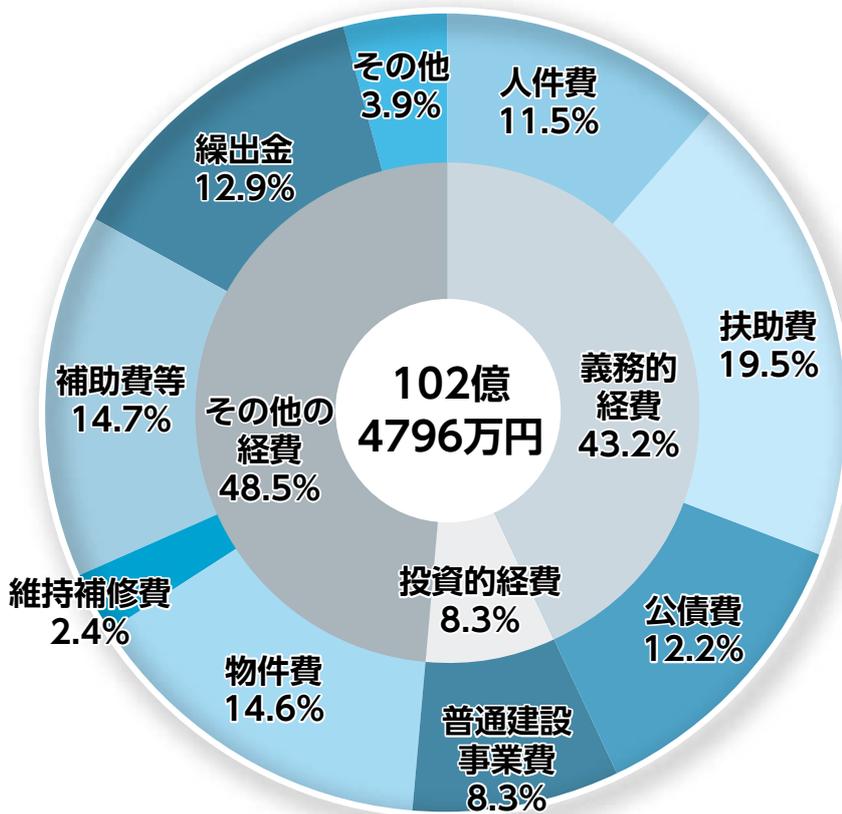
- ◆ 収入未済額は減少するも徴収率アップに一層の努力を
（決算特別委員会）・・・・・・・・・・・・・・・・ 2ページ
- ◆ 子どもの健やかな成長と人口増加をめざして（第3回定例会）・・・・ 7ページ
- ◆ 町政を問う（一般質問：5人）・・・・・・・・ 10ページ



徴収率アップに一層の努力を 滞納繰越分は低調



一般会計 歳出決算構成グラフ（目的別）



一般会計 歳出決算構成グラフ（性質別）

平成27年第3回定例会は、9月3日から10日までの8日間の会期で開かれました。放棄した債権や財政健全化法にかかる報告、多子出産祝金支給条例の制定、平成27年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算など、報告3件、議案17件が上程され、審議の結果いずれも原案のとおり可決しました。

また平成26年度一般会計、特別会計などの歳入歳出決算認定議案9件については決算特別委員会を設置し、集中審査の結果、原案のとおり認定しました。

そのほか議会運営委員会（澤頭好孝委員長）から、会議規則の改正について提案があり、議会では全会一致で可決しました。

一般質問には、5人の議員が登壇し、全員が一問一答方式により町当局の考えを質しました。

ポイント
前年対比

- ◎ 1億7129万円増加（前年比101.7%）
- ・ 扶助費 1億4807万円増加
- ・ 積立金 1億6563万円増加
- ・ 公債費 1億730万円減少
- ・ 投資的経費 5億2722万円減少

扶助費：児童手当や保育所運営費、医療給付費など

公債費：地方債（借金）の返済金

投資的経費：支出の効果が単年度また短絡的に終わらず、固定的な資本の形成に向けられる経費

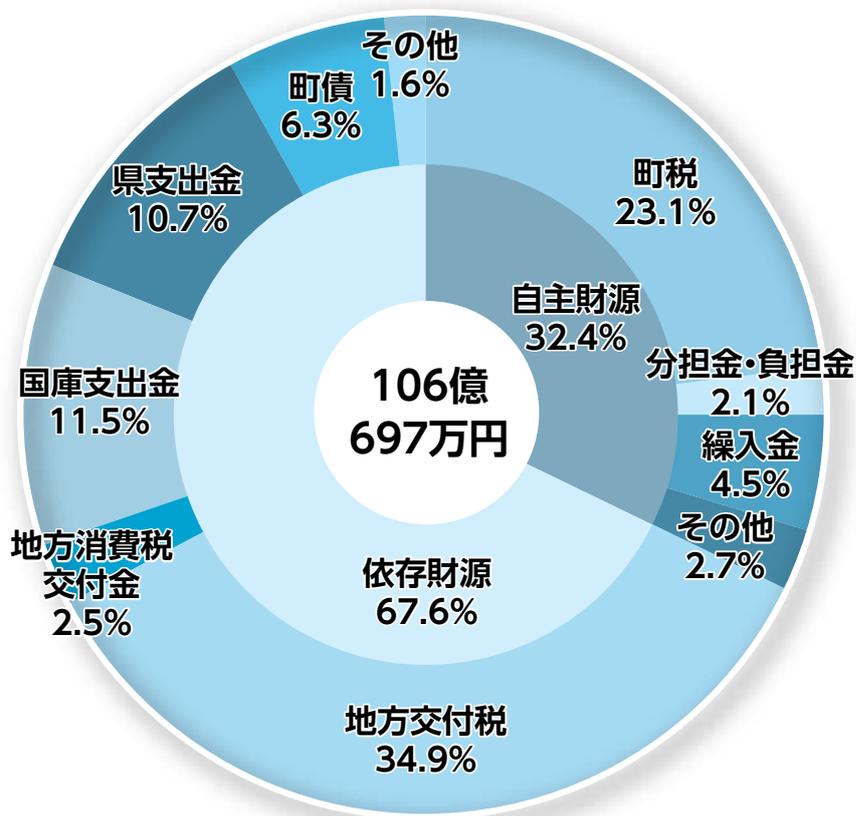
26年度 決算

収入未済額は減少するも 昨年度より3571万円減少、



特別会計の決算状況

| | |
|--------------|-----------|
| 国民健康保険特別会計 | 27億3305万円 |
| 奨学資金貸付事業特別会計 | 1680万円 |
| 公共下水道事業特別会計 | 10億7737万円 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 1億2181万円 |
| 介護保険特別会計 | 20億7753万円 |
| 公共用地取得事業特別会計 | 3876万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 1億5367万円 |
| 病院事業会計 | 10億6534万円 |



一般会計 歳入決算構成グラフ

今回の表紙は…

お父さんの影響で5歳からバイクを始めた川口一翔（6歳：一川目）。アオモリモトクロスシリーズのレースに50ccバイクで出場し、1位を目指してがんばっています。

ポイント 前年対比

- ◎ 3億1964万円増加（前年比103.1%）
- ・ 国庫支出金 2億9273万円増加
- ・ 財政調整基金繰入金（貯金の取り崩し）1億6328万円増加
- ・ 地方債（借金）2億740万円減少

歳出総額は前年比2・3%の増 — 決算の状況 —

平成26年度歳出決算額は一般会計、8特別会計、病院事業会計を合わせて、175億3227万円となり、前年度決算額と比べ、3億9407万円の増となりました。

◆一般会計の状況は
一般会計歳出額は、1億7129万円の増となりました。

目的別で主なものは、民生費が臨時福祉給付金事業などにより1億4243万円の増、土木費では町道整備事業などにより9320万円の増、衛生費では最終処分場閉鎖事業などにより8817万円の増となつていま



改良された神明前交差点



閉鎖された最終処分場

しかし、教育費で4億4773万円の減、総務費で1億3886万円の減となりました。性質別で見ると、義務的経費※1は、扶助費が1億4807万円の増となりましたが、公債費が1億730万円の減となったことにより、総額では前年比1・4%増の44億2753万円となりました。また、その他の経費では、補助費等※2が前年より2億4100万円増となりましたが、これはおいらせ消防署分遣所建設負担金などによるもの

【基金残高（町の貯金）】

| 区分 | 平成26年度末 | 増減額 |
|--------------|-----------|---------|
| 財政調整基金 | 14億9185万円 | ▲6980万円 |
| 減債基金 | 7億5625万円 | 44万円 |
| 地域振興基金 | 12億3000万円 | 増減なし |
| 東日本大震災復興推進基金 | 1億3034万円 | ▲9070万円 |
| 公共施設整備基金 | 4億1295万円 | 9380万円 |
| その他基金（15基金） | 9億2935万円 | 1億870万円 |
| 合計 | 49億5047万円 | 4217万円 |

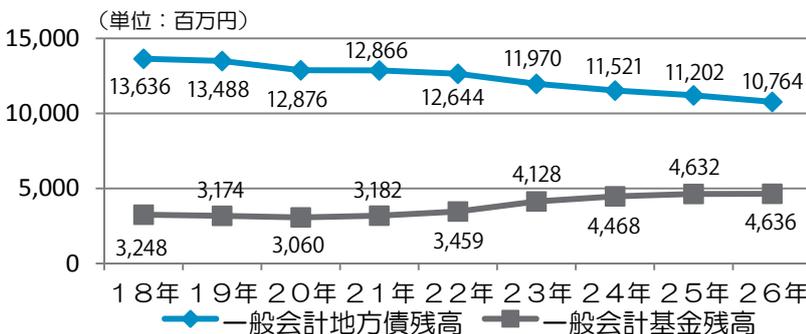
です。
※1義務的経費
支出が義務的で任意では削減できないもの
※2補助費等
町から広域組合や民間の各種団体等に対して、支出される負担金や補助金

【地方債残高（町の借金）】

| 区分 | 平成26年度末 | 増減額 |
|----------------------|------------|-----------|
| 一般会計事業債 | 107億6373万円 | ▲4億3798万円 |
| 公共下水道事業債 | 81億9021万円 | ▲2億9314万円 |
| 農業集落排水事業債 | 7億4216万円 | ▲4638万円 |
| 財政安定化基金貸付金（介護保険特別会計） | 4500万円 | 2500万円 |
| 公共用地取得事業債 | 3180万円 | ▲3500万円 |
| 病院事業債 | 1億3085万円 | 492万円 |
| 合計 | 199億375万円 | ▲7億8258万円 |

町の借金総額
200億円を下回る
町の貯金である基金は、一般会計と特別会計を合わせて20基金があります。基金残高は、財政調整基金と東日本大震災復興推進基金が減少しましたが、全体では前年度より4217万円増え、

49億5047万円となりました。一方、町の借金である地方債は、26年度は町全体では10億6830万円を借り入れました。残高は、前年度より7億8258万円減り、199億375万円となりました。



左のグラフは、過去9年間の一般会計における基金と地方債の各残高の推移を表していますが、監査委員の決算審査意見のとおり、地方債残高が減り、基金残高が増えていることがわかります。

健全財政維持への努力を評価、一層の努力期待。

― 決算審査報告 ―

町監査委員から決算審査、財政健全化審査及び経営健全化審査に関する意見書が提出されました。

【決算審査意見】

各会計とも適正に処理されている。

全体として見た場合、地方債残高が減り基金残高が増えていることから、健全財政維持への努力が見て取れる。

しかし、今後もインフラ整備や福祉など高レベルでの行政サービスの維持、継続が求められるとともに、震災復興のハード面の仕上げに向けて加速が必要となることから、より一層の努力と成果を期待したい。

次に、各種税、使用料等の収入未済額等の状況を見ると前年度より減少しており、徴収率のアップに大変努力していることは評価できる。

しかし、「将来の不納欠損額」予備金とならないよう、着実に処理することによって、安定的な



審査結果を報告する
名古屋誠一代表監査委員

財政運営の維持につながるものと考えているので、ますますの努力を期待したい。

【財政健全化審査意見】

財政健全化判断の4項目の指標（下表参照）については、早期健全化基準を下回っていることから特に指摘すべき事項はない。

【経営健全化審査意見】

病院事業、公共下水道事業、農業集落排水事業の各会計は、赤字になっておらず、結果として資金不足の状況にはなく、良好な状況にあると認められる。

財政指標 平成26年度一般会計等健全化判断比率

| 項目 | 実質赤字比率 (一般会計、奨学資金貸付事業・公共用地取得事業の各特別会計の赤字の大きさ) | 連結実質赤字比率 (一般会計と全ての会計の赤字の大きさ) | 実質公債費比率 (借入金返済の負担の大きさ) | 将来負担比率 (将来負担すべき負債の大きさ) | 資金不足比率 (資金不足が事業規模に占める大きさ) |
|--------|---|---------------------------------|---------------------------|---------------------------|------------------------------|
| 26年度 | 2.63%の黒字 | 16.60%の黒字 | 13.8% | 40.9% | — |
| 25年度 | 1.67%の黒字 | 15.05%の黒字 | 13.7% | 59.2% | — |
| 健全化基準値 | 14.21% | 19.21% | 25.0% | 350.0% | 20.0% |

【町税等未収金の状況】

| 区分 | 平成26年度末 | 平成25年度末 | 増減額 | 不納欠損額 |
|-------------|----------|----------|---------|--------|
| 町税 | 2億3492万円 | 2億5442万円 | ▲1950万円 | 2619万円 |
| 学校給食費 | 959万円 | 1053万円 | ▲94万円 | — |
| 町営住宅使用料 | 1582万円 | 1637万円 | ▲55万円 | — |
| 保育料 | 546万円 | 677万円 | ▲131万円 | 6万円 |
| 督促手数料 | 280万円 | 307万円 | ▲28万円 | 79万円 |
| 国民健康保険税等 | 3億7610万円 | 3億8668万円 | ▲1058万円 | 2179万円 |
| 奨学資金貸付金 | 237万円 | 214万円 | 23万円 | — |
| 下水道使用料等 | 960万円 | 1164万円 | ▲203万円 | 98万円 |
| 農業集落排水使用料等 | 204万円 | 193万円 | 11万円 | 5万円 |
| 介護保険料等 | 1166万円 | 1061万円 | 105万円 | 303万円 |
| 後期高齢者医療保険料等 | 83万円 | 101万円 | ▲18万円 | 18万円 |
| 病院医療費 | 456万円 | 629万円 | ▲173万円 | 93万円 |
| 合計 | 6億7575万円 | 7億1146万円 | ▲3571万円 | 5402万円 |

※数値は、万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。▲は減額です。

決算特別委員会 — 主な質疑 —

平成26年度の各会計決算認定は、議長及び議会選出監査委員を含む全議員をもって構成された決算特別委員会で審査することを付託されました。

委員長に吉村敏文委員、副委員長に佐々木光雄委員を選任し、2日間にわたり審査した結果、全会計の決算を認定することについて異議がありませんでした。質疑は多数ありましたが、その一部を紹介します。



決算特別委員会による審査結果を報告する吉村敏文委員長

保育料、給食費

その未納要因は

平野委員 払われて当たり前前の保育料、給食費に収入未済が発生している要因の説明を。

町民課長 保育料については、生活困窮者（特にひとり親世帯）が増えていることから滞納が発生しているが、ここ数年は減っている。催告等実

施しており、今年度は差し押さえも実施した。今後も徴収に努める。

学務課長

平成26年度は徴収を強化したが、要因として、口座振替時の残高不足があったので、こまめに連絡した。また今年度は裁判所を活用し徴収強化を図っている。

行政推進員報酬、

その目的は

馬場委員 行政推進委員を8年間務めたが、行政推進委員報酬を支払う目的は。

まちづくり防災課長

広報紙の配布、町からの情報提供、災害発生時の町内会員の誘導等です。

馬場委員

広報紙の配布以外の任務があるにも関わらず、配布した世帯数分のみを報酬の支払い根拠とするのは町の大きな誤りだ。

まちづくり防災課長

行政推進委員会議で合意を得られたと理解している。

馬場委員

行政推進委員の仕事と報酬について、再度見直すことを要求する。



老人福祉センターでの

入浴日は

西館芳委員

館での入浴サービスは大変好評で毎日実施しているが、本庁舎近くの老人福祉センターは月曜・木曜と週2回なので、毎日実施できないか。

副町長

合併前から週2回の入浴日となっているが、考えてみたい。

地区敬老会

開催・出席状況は

榎山委員

敬老会を実施しているのか。また平均出席人数は

介護福祉課長

昨年年度、地区敬老会は28地区34町内会が実施しており、対象者2585人中1037名が参加した。地元町内会で開催してい

ない町内の方を対象に開催している町の敬老会には、対象者484人中74人が参加しており、全体で36%がいずれかの敬老会に出席している。

榎山委員

地区敬老会は出席率が高いので、送迎について考えてもらえたら出席者は増えると思う。

介護福祉課長

敬老会での送迎委託について、事前に相談があれば対応する。

松林委員

敬老会を各町内会で実施してもらおうという話が出て4年経つが実施していない町内会への対応は。

町長

よく検討・議論して、決断したい。

資源ゴミ回収事業

その効果は

馬場委員

回収事業奨励金として353万円支払っているが、その効果は。

環境保健課長補佐

24年度は325万円、37団体だったが、26年度は353万円、37団体。確実にゴミを減らそうという取り組みは広がっ

ていると思う。

コールセンター事業

その後の経過は

平野委員 コールセンターはその後どうなっているのか。またブランド街なかショップが閉鎖されたが、その評価は。

商工観光課長

コールセンターの実績は8月は赤字で、今後の黒字に向けて営業努力をしている。

ブランド街なかショップ「おいらせ屋」は、自立を目指したが、安定した収益をあげることができず、町民の憩いの場としての本来やりたかった街なかサロンの部分があるそかになった。

そのほかの質疑の内容は、会議録でご確認ください。

会議録は、議会ホームページ、または議会事務局で閲覧できます。

子どもの健やかな成長と人口増加をめざして

— 議案第54号 おいらせ町多子出産祝金支給条例 —



地方創生事業の一環として、子育てにかかる費用の負担を軽くし、子供の健やかな成長と町の人口増加を促すために、多子出産祝金支給条例制定の提案がありました。議会では条例案について審議した結果、全会一致で可決しました。

◆多子出産祝金支給条例

この条例は、平成27年4月1日から平成32年3月31日までの5年間に生まれた第2子以降の子どもを出産した母親またはその配偶者もしくは養育者に対し、祝金を支給するものです。

また、平成27年度は総支給額800万円を予定し、補正予算に計上しました。

【質疑】

榎山議員 対象は4月1日以降に生まれた子だが、知人に3月23日に生

まれた第4子、5子がいるが、対象にしてもらえないか。

町民課長 心情としては理解できるが、今年度事業として実施するため、昨年度以前に生まれた子には支給できない。

榎山議員 では、100歳の方に長寿祝金を支給しているように、多子世帯に対しても祝金を別に考えてはどうか。

副町長 考えてみたい。

川口議員 祝金の支給対象を第2子以降からとした根拠は。

町民課長 おいらせ町の合計特殊出生率は1.61であることから第2子からとした。

川口議員 なぜ、出生率が低いのか、検討・分析し、議会と一緒に、おいらせ町にあわせた少子化対策として検討してもらいたい。

町長 しっかり分析し

て政策を打ち出していきたい。

西館芳議員 おいらせ町職員であるならば、他市町村と全く同じ条例を提案するのではなく、創意工夫をしたものを提案してほしい。

この支給条例は、大した工夫もない大盤振る舞い。子育てに影響はなく、基本的に賛成しかねる。根本的な処方箋を考えてほしい。

企画財政課長 事業の内容が示されたのは、今年4月以降と短期間であったことを理解してほしい。

松林議員 議員間でも議論し、条例の修正や否決を考えた。

町はこの条例を精査し議論する考えはないか。

副町長 実施してみても悪いところや、より良い意見があれば検討し、いいものにしていきたい。

多子出産祝金支給額

| 区分 | 支給額 |
|-------|------|
| 第2子 | 5万円 |
| 第3子以降 | 10万円 |

※町税等を滞納していないことなど、支給要件があります。

町全域の街路灯LED化事業に着手

— 議案第59号一般会計補正予算(第2号) —

平成27年度一般会計補正予算は、歳入歳出にそれぞれ1億5665万円を増額補正し、予算総額を108億498万円としました。

町内全域の街路灯をLED照明に切り替えるための調査費798万円を含む補正予算案の提案がありました。

LED化調査費には、一般社団法人低炭素社会創出促進協会からの補助金が充てられます。

町街路灯LED化により、将来にわたり環境への負担軽減、電力コストの削減が見込まれており、町では平成28年度から交換工事を行い、平成38年度までの10年間でリース期間とする計画を立てています。

またその他の歳入として、町の貯金である財政調整基金9064万円の取り崩しをやめ、地方交付税1億4613万円や前年度繰越金6200万円、国庫支出金2218万円などを充てることになりました。



街路灯のLED化により環境への負担軽減と電力コストの削減が見込まれる

【質疑】

吉村議員 旧百石地区の街路灯の個数、明るさについて、町内会の考えを聞いて、事業に反映してほしい。

まちづくり防災課長

基本的には、既設灯具の交換だが、できるだけ町内会の声を反映したい。

吉村議員 個人的に旧百石地区が暗いと感じる。LED照明はワット数の関係もあり、逆に暗くなることも考えられるので、十分吟味し、より良いものとしてほしい。

平野議員

町内集会施設もLED化切替の該当にならないか。

まちづくり防災課長

今回は、街路灯を優先して実施したい。

27年度9月補正予算の内容

| 会 計 別 | 補正額 | 補正後の額 | 歳出の主なもの |
|----------------|----------|------------|--|
| 一 般 会 計 | 1億5665万円 | 108億 498万円 | マイナンバー制度対応システム改修費 833万円 多子出産祝金 800万円 地場産米・酒の消費PR推進補助金 100万円 町道整備工事費 5000万円 消防団デジタル受令機購入費 850万円 |
| 特 別 会 計 | 9475万円 | 69億 97万円 | |
| 国民健康保険特別会計 | 3949万円 | 31億5889万円 | 国庫返還金 2943万円 |
| 奨学資金貸付事業特別会計 | ▲71万円 | 1902万円 | 奨学資金貸付金 ▲87万円 |
| 公共下水道事業特別会計 | 752万円 | 11億4018万円 | 下水道整備工事費 930万円 |
| 農業集落排水事業特別会計 | ▲100万円 | 1億3139万円 | |
| 介護保険特別会計 | 4481万円 | 22億6607万円 | 支払基金返還金 1584万円 |
| 公共用地取得事業特別会計 | 301万円 | 2519万円 | 洋光台団地定住促進助成金 301万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 163万円 | 1億6022万円 | 後期高齢者医療広域連合納付金 158万円 |
| (公営企業会計)病院事業会計 | 204万円 | 10億7470万円 | |
| 収益的収入及び支出 | 204万円 | 9億7495万円 | |
| 資本的収入及び支出 | — | 9975万円 | |
| 総 計 | 2億5344万円 | 187億8065万円 | |

*数値は、会計毎に万円未満を四捨五入しているため、合計額が一致しない場合があります。▲は減額です。

住宅使用料、医療費等約140万円の町債権を放棄

— (報告第18号) —

町債権管理条例に基づき、時効等の理由により、町債権28件、140万円を放棄した報告がありました。

今回放棄された債権は、住宅使用料約48万円と医療費約93万円です。

住宅使用料は1人8件分であり、時効及び生活困窮を放棄理由しており、また医療費は平成13年度から18年度までの20

件、15人分であり時効を放棄理由としています。

【質疑】

平野議員 強制執行など手立てをしても徴収できなかつたのか。

病院事務長

電話催

告、臨戸訪問等行ったが、生活保護受給、債権者の死亡、住居不明等がほとんどであり、現実的には徴収が難しかったので、債権放棄の手続きを取った。

会議規則を改正し、欠席理由に「出産」を明示

— (発議第3号) —

議会運営委員会（澤頭好孝委員長）から委員会発議として、会議規則を改正し、議員の欠席理由に「出産」を明示する「町議会会議規則の一部を改正する規則」が提案され、全員賛成で可決しました。

会議規則の一部改正については、男女共同参画を考慮した議会活動の促進や社会情勢などを勘案するものです。

従来の会議規則では、欠席理由として「事故」としか規定がありませんでしたが、今回の改正により、女性議員が「出

産」を欠席理由として事前に日数を定めて届け出ることができるようになりました。



提案理由を説明する
澤頭好孝委員長

議員派遣

◆市町村議会議員研修「自治体予算を考える」

滋賀県大津市の全国市町村国際文化研修所において、8月30日から31日までの2日間にわたり行われる研修に楢山議員を派遣しました。

同研修には全国から70人の市町村議会議員が出席しており、楢山議員から「予算の組み立て方、仕組み、予算と議会の関係等のポイントを解説していただき、理解が深まり、大変有意義であった」と報告がありました。



第3回議員全員協議会

8月25日（火）、議員全員協議会が開催され、新町建設計画の一部変更など4つの案件について協議しました。また、「町多子出産祝金条例の制定について」を協議する際、傍聴していた報道陣の退場を求める場面もありました。

◆新町建設計画の一部変更について

第2回全員協議会で協議された案件について、県との事前協議において意見・助言を受けて一部変更するもの。

◆おいらせ町人口ビジョン素案及びおいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略素案の策定について

平成52年（2040年）までの町の人口ピ

ジョンと人口ビジョンを踏まえた活力ある地域を維持するための5カ年計画を作成するもの。

◆街路灯LED照明導入促進事業について

町全域の街路灯のLED化を実施するもの。

◆おいらせ町多子出産祝金条例の制定について

地方創生先行上乘せ交付事業の対象として条例を制定し、第2子以降の出産に対し祝金を支給す

るもの。

全員協議会の傍聴について

全国町村議会議長会による「町村議会の運営に関する基準」では、「議長の許可を得た者が傍聴できる。ただし、議長が必要があると認めるときは、傍聴人の退場を命じることができる」としている。

町政を問う

～ ここが聞きたい 一般質問 ～

| ページ | 質問事項 | 質問議員 |
|-----|--|-------|
| 11 | 1. 第1次町総合計画について 2. 町道間木百石1号線と、それに接続する道路の安全対策について 3. おいらせよさこいソーランの制作・普及促進と、おいらせ音頭について | 檜山 忠 |
| 12 | 1. 町長選挙公約実現について 2. 農業用車両道路整備について 3. 期日前投票所増設について | 松林 義光 |
| 13 | 1. 避難タワー建設計画変更の経緯について | 西館 芳信 |
| 14 | 1. マイナンバー制度について 2. 飼料用米の作付について 3. 百石祭りの活性化策について 4. 町道木ノ下・二川目線と交差する町道中野平・三沢線（ジャスコ道路）に信号機の設置を | 平野 敏彦 |
| 15 | 1. 公共施設等のマネジメントについて 2. 健康長寿青森県一を目指すにあたって | 澤上 訓 |

※「一般質問」は、行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。年4回の定例会で行われます。

議員が、町の一般事務について、執行機関に対しその執行の状況及び将来の方針等について所信をただし、事実関係を明らかにすることにより、現行の政策を変更、是正させ、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的効果があります。

※一問一答方式の場合、60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。「ぎかいだより懸橋」では、スペースの都合上、質問と答弁を要約しておりますので、本会議場での傍聴をお待ちしております。

※会議録は、議会事務局(本庁舎3階)や町議会ホームページ(<http://www.town.oirase.aomori.jp/site/gikai/>)で閲覧できます。

おいらせよさこいソーランとおいらせ音頭、 町活性化の両輪とすべきでは



榎山 忠 議員

町長「音頭は普及継続、よさこいソーランも普及させる」

**町のバス交通
利便性の向上を**

榎山 後期計画の施策の達成指標として、現状の満足度9・9%、不満足53・2%とあるが、現状値の不満原因は何か。

町長 主な原因として、バス本数が少ないこと、運賃などが考えられる。

榎山 デマンド型交通システムの導入を検討しているが、現在導入している市町村はあるのか。

町長 デマンド型交通システムは、現在十和田市が、路線バスの廃止になった区域で、乗合タクシー方式で運行している。

十和田市は3地区で実施し、価格設定、路線、利用者数、負担金等について、確認しているが、課題は、利用者の増による経費の増大と聞いている。

榎山 デマンド型交通システム導入の予算と計画の進行状況は。

町長 今年度は、町民バスの一部拡充を行い、その結果を検証しながら、町民バスによる交通の利便性の向上を目指したい。

デマンド型交通には、様々な方式があり、当町に合う方式を検討する必要があるが、具体的な検討には至っていない。



知恵を出し合ってバス利便性の改善を

町道間木百石1号線と接続する道路の安全対策は

榎山 町道間木百石1号線はイオンモール下田と下田公園、または国道45号線へのバイパス道路となっている。安全対策、早期の歩道整備の考えは。

町長 この路線整備にあたり、警察と交通安全対策のための交差点や交通標識の協議を行い、その結果により所要の対策を講じており、現時点での安全対策は十分と考えている。

今後、交通量増加や交通状況の変化があった場合には、警戒標識などの設置を考えたい。

歩道整備については、通学路の検討路線外のため、「町の生活関連道路整備基本計画」の中で整備を検討していくことになり、現時点では整備年度等は未定である。

榎山 国道45号バイパス交差点での車両の飛び出し、運転者による歩行者用自動式信号機動作を時々目にする。車輛感知式信号機設置の考えは。

町長 三沢警察署によると、この交差点は木内々小学校が近くにあるため、児童等の安全な横断のために押しボタン式信号機が設置されている。

また、信号機増加の場合、交通の流れが悪くなり、渋滞も懸念されること、同所での人身事故が過去3年間に発生していないことから、現時点における設置の必要性は低いとの回答である。

おいらせよさこいソーランとおいらせ音頭の普及策は

榎山 おいらせよさこいソーラン制作の計画と完成時期は。

榎山 よさこいソーランの普及促進と、現在町民に定着しつつある「おいらせ音頭」の普及促進対策は。

町長 おいらせよさこいソーランは、更なる町民の一体化と町の活性化をめざし、制作しており、町民になじみのある、おいらせ音頭の歌詞を使い、エネルギーを曲に編曲し、力強い振付を付けることとしている。

11月1日実施予定の町誕生10周年記念式典のワークショップでお披露目する計画としている。



また、おいらせ音頭の普及促進活動としては、これまでCD・DVDの制作・配布、出前講座の実施、学校行事への取り入れ、百石まつり・下田まつりへの参加など多くの活動を実施している。百石まつり・下田まつりや町内会の盆踊り大会などでも多くの方々に踊っていただき、出前講座でも大変人気の講座となっている。これからも継続し、更なる普及拡大をめざしたい。

北部地区下水道整備事業は、任期中に着手するのか

町長「町民・町財政負担の観点から 最初の検討が大事。着手には時間を要する。」



松林 義光 議員

町長の公約 現在の状況は

松林 町長選挙時の公約である北部地区下水道整備事業は、任期中に着手するのか。

町長 整備の方向性を検討中であり、任期中の事業着手の可否については、答弁できる状況ではない。

整備の一定の方向性がまとまった時点で、議員に説明、意見を伺いたい。

松林 住吉町から三沢市民病院を最短でつなぐ北部地区緊急搬送道路整備は進展しているのか。

町長 本道路整備計画を進めるため、昨年度は、三沢市と共同で事業化に向けた取組みを進めることとし、今年度は、基本計画案を策定するため、三沢市と計画ルートを選定と今後のスケジュールの調整を進めていく予定。

松林 北部地区町小中学校の主要通学路整備の

積極的推進の公約だが、整備箇所はどこで、工事に着手しているのか。また、県道の歩道整備を要望する場所はどこなのか。

町長 昨年度は、通学路交通安全対策検討調査を実施し、そのうち木ノ下中学校学区通学路30路線、25・1kmについて対策を検討した。

今年度は、整備路線や整備方法を協議し、「交通安全プログラム」を策定し、来年度から予算に応じ工事等を進めたい。

北部地区県道の歩道整備の要望箇所は、北部出張所付近と十和田おいらせ農協野菜センター付近の2箇所と、拡幅区間として気比神社付近の合計3箇所を要望している。

松林 下田第5分団の移設と合わせた丁字路の改良は進んでいるのか。また、下田第5分団旧屯所をなぜ解体しないのか。

町長 今年度は、交差点の計画図を作成し、県、警察と交差点協議を

進め、来年度以降、現地測量と実施設計を行い、工事を進めていく。

下田第5分団旧屯所解体は、工期を11月30日までとして、9月末に建物解体工事入札を行う。

防火水槽解体工事については、新年度予算で対応するが、これは、防火水槽上に建物があり解体費用の積算に支障があることと、工事費削減を図ることから、分離して解体工事を行う。

松林 おいらせ病院の将来の建て替えに備えた調査・研究に着手することだが、現在地に立て替えなのか、移転する考えなのか。

町長 調査研究の着手については、①病床機能、②病院の規模、③建設費、④再生可能エネルギー設備、⑤建設候補地の5項目について検討を加え、基本的な方向性を見出す。

病院の建替えにあたっては、交通の利便性や駐車スペース、津波等の災害時の対応を考慮しな

ればならない。現段階では、現在地あるいは移転については、今後検討していく。

渋滞解消のため 農業用車輛道路整備を

松林 農業用車輛道路として、木ノ下児童館東側から一里塚公園東側の区間を整備する考えはないか。

町長 農家が不便に感じていることは理解しているが、生活道路の整備に対する要望・苦情は数多く、毎年策定している生活関連道路整備基本計画の概算事業費が約148億円にも上ることから、



農業用車輛と一般車両が通行する県道八戸・野辺地線

生活基盤の整備を優先しなければならぬ状況である。

松林 農業用車輛道路整備には多額の財源を要しないので、今一度検討する考えはないか。

町長 金がかからない部分でやれるとなれば、利便性が向上して、農家の方々も、一般交通の方々も渋滞が解消されるので、再検討したい。

期日前投票所の増設は

松林 投票環境の向上を図る面から、分庁舎、北部公民館に期日前投票所を増設する考えはないか。

選挙管理委員長 6月定例会で答弁したように、年内までに検討することとし、7月・8月の選挙管理委員会では、協議しているが、まだ結論に至っていない。

津波避難タワー、選挙のためにこれを利用、 計画変更した



西館 芳信 議員

町長「自分の考えと行政の継続性は別。それぞれの要因から総合的な判断した」

西館 建設されている津波避難タワーは、成田町長時代に立案された物とは、規模が縮小、機能的に劣り、場所的にも高齢者、身障者、子どもにとつて、避難の際は負担を強いるものとなった。どうしてこのような信じられない事態となったのか。

町長 初めに、未曾有の被害を受け、前例のない復旧・復興事業の推進には、それぞれの立場において、ご苦労されたご報告を受けている。

私は、国との協議内容を踏まえつつ、町民の将来負担など考慮し、避難方法は妥当か、町長として総合的に判断した。

西館 町長に、そのような結論に至らせた計画変更の理由、経緯などについて、特に財政規模の縮小、場所の変更について説明願いたい。

町長 当初、川口地区での24メートルの津波避難タワー建築計画時の避

難方法と避難に関する条件が変更したことが大きな要因。

計画変更の理由は、これまで説明してきたように、国の津波避難計画指針（マニュアル）の改正や明神川にかかる橋の耐震化決定、コスト削減等が主な要因。これらについて、国と協議を重ね、現在の計画変更の結論に至った。

西館 私からすればなら説得力を持たないものの羅列。

マニュアル（津波避難計画）改正だが、なぜ消防庁が国土交通省の事業を拘束できるのか。

「橋の耐震化で渡れるようになった」は論外で、多くの児童が亡くなった大川小学校の例から川に近づいてはならないが原則だ。

コスト削減についても議員から避難道の整備が先という声があったが、あそこだと避難道整備の方がはるかに高くつく。

町長 判断材料は、や

はり将来コストを考えたら、6億5千万円の津波避難タワーの維持費は試算で年400万円、明神山は年40万円。

そして、最大津波が来るには52分かかる。川口地区から明神山に逃げるには大丈夫。地域の方々に訓練してもらい、津波となったら遠く高い方に逃げる、これが一番。

西館 成田町長の考えるタワーは、農水産物加工

工産品直売所、漁協組合事務所、宿泊・会議施設を備えた地域活性化の拠点であり、ランドマークになる壮大なものだった。

計画変更の周知はどのようになされ、進捗していた計画部分はどのように收拾されたのか。町民、地権者、プロポーザル業者にどう説明したのか。

町長 平成26年7月2日に議員全員協議会に説明をし、その後川口、堀切川、明神下、横道、ほか工業団地組合を対象に

説明会を開催し、変更計画を周知した。

候補地の地権者には、変更に至った経緯の説明とお詫びをし、水稲の作付けができなかった分の補償を行い、理解が得られたと考えている。

まちづくり防災課長

業者とは、双方協議の上、合意した。

西館 津波最大波到達

まで52分と言ったが、その認識がおかしい。13、14分。だから避難タワーが必要となった。

トップの者が大事な数字を軽率に話すのは…。町長は、マニュアル、マニュアルと言ったが、マニュアルのどの部分と照らし合わせて計画の必要が生じたのか全く答えていない。

建設場所の変更については、国からではなく、町長自身から切り出されたという情報をもっている。

町長 引き波が13、14分であり、L2津波最大波が52分と認識してい

る。

個人的にどこのこのついで決めるわけにはいかない。集中復興期間が27年度で終わりと言われており、結論を出さなければならぬ。

一番いいのは何かといった時に、マニュアル改正、橋の耐震化、コスト削減といったことで決断した。

西館 何を聞いてももの

らりくらり。答えてほしいことに答えない。町民、県民、国民、一生懸命やった職員に背反、計画変更に至るコストの問題があったとしてもこれを回避すべく、国・県・本県選出の国会議員等に働きかける何の努力もなかった。ただ自分の選挙のために、この問題を利用し、計画変更をせざるを得なかった。町民の損失は大きい。

町長をやめませんか。辞職する気はありませんか。

か。

町道木ノ下・二川目線に信号機の設置を

町長「県公安委員会に対し、 機会があることに要望していきたい。」



平野 敏彦 議員

マイナンバー制度 もっと町民に周知を

平野 マイナンバー制度の町民の認知度は。

町長 マイナンバー制度は、町広報誌の本年5月号から、またホームページでも制度内容を掲載し周知に努めている。当町でも、広報誌等の周知成果が、徐々に浸透し、認知度は高まっていると認識している。

平野 平成27年10月からの個人番号通知開始後の町の対応は。

町長 住民票を有する町民に対して、「通知カード」が、国が委託した地方公共団体情報システム機構（J・L・S）から町長名で郵送される。

身分証明用としての利用希望者には、別に顔写真付きの「個人番号カード（マイナンバーカード）」の交付申請手続きが必要となり、来年1月1日以降に交付となる。制度に関する問い合わせ

せ、「マイナンバーカード」交付申請手続き等のため、町民課に特設窓口を設けて対応する。

平野 平成28年1月に個人番号の利用開始・個人番号カードの交付開始とある。説明してほしい。

町長 来年1月1日からマイナンバーを記載して、税や社会保障の手続きが開始される。

また、希望者に交付される「マイナンバーカード」は身分証明書にもなるので、引き続き広報誌やホームページで知らせる。

町外の飼料用米作付農 家に対する指導徹底を

平野 町の飼料用米作付面積の現状と飼料用米の町内・町外者の作付け人数は。

町長 町内の農地における平成27年度の飼料用米作付面積は96ha。平成26年度の13haに対し、

83ha増加している。

また、平成27年度の町内農家の飼料用米作付け人数は、1団体、22農家となっているが、町内で作付けする町外農家は把握していない。

平野 町外者に対する飼料用米の作付基準を作成する考えはないか。

町長 飼料用米の作付基準については、町内外の農家にかかわらず、飼料用米の作付面積が今後も増加することが見込まれるので、主食用米を作付する農家に影響を及ぼさないように、農業協同組合・土地改良区と協議、検討したい。

歴史ある百石まつり への活性化策を

平野 百石まつりへの町の認識は。

町長 百石まつりは、秋の豊作と大漁を祝う祭として約百三十余年の歴史と伝統を誇る若宮八幡宮と土鼻神社の附け祭り

であり、平成18年度からは、「おいらせ百石まつり」と名称を変更して、おいらせ町観光協会が運営主体となって実施している。

町としても、町民が楽しみにしているイベントのひとつとして、継続して支援していきたい。

平野 前夜祭の夜間運行の声があったが進展がない。

町長 国道を利用した山車の夜間運行については、三沢警察署からは、諸条件を解決できれば可能との見解ではあるが、山車組との意見交換では、10山車組中6山車組が不可能、1山車組が保留とすることであった。夜間運行は、山車組や関係機関の協力がなければ実現できないため、あらためて検討したい。

平野 少子化に伴う山車の引き子に苦慮している山車組が多い。

町長 山車の出ていない町内の小学生や町民に

対して募集との提案もあるが、山車組によって参加料が異なるなどの課題もあり、抜本的な解決策が見当たらない。

引き続き関係団体と協議をしながら、より良い解決策を検討する。

交通事故発生！ ジャスコ道路と木ノ下・ 二川目線の交差点

平野 木ノ下・二川目線の交通事故の発生件数は。

町長 三沢警察署では、個々の路線や箇所ごとに統計として整理していないとのこと。

平野 農作業従事者の安全確保のため信号機は必要だと思う。

町長 県公安委員会では危険度の高いところから信号機を整備している。

しかし、声を出していくのは大事なので、この路線についても機会があるごとに伝え要望していきたい。



澤上 訓 議員

ドームは現在の町にとって最も必要だと考えるが

町長「進めていかなければならないと意志を強くしている。」

課題となっている
公共施設老朽化対策。
町の対策は。

澤上 公共施設のマネジメントについて、町公共施設等の老朽化の現状把握はしているか。

町長 町公共施設として、道路、下水道、土地、建物、公園等があり、各施設担当課の現地調査、台帳の整備により把握し、台帳は、道路・下水道・公園等は地域整備課、土地・建物等は各施設担当課と企画財政課で共有している。

澤上 公共施設等の更新、統廃合、長寿命化を行う必要があるが、公共施設等総合管理計画策定を考えているか。

町長 公共施設等総合管理計画は、各公共施設の設置年度、面積等の調査後、固定資産台帳の整備をし、その台帳を基に公共施設全体を把握し、将来的な見通しと総合的かつ計画的な管理をするために策定するもの。

固定資産台帳整備と総合管理計画策定は委託することとして、8月27日に入札をし、業務を進めている。

委託期間は、平成29年3月20日までの2年間。

健康長寿青森県一を目指すにあたって

澤上 私も大賛成であり、ぜひ応援したい「いきいき健活ポイント事業」。

町民の反応は。

町長 「いきいき健活ポイント事業」は、本年6月25日にスタートし、8月末時点で3名の方が20ポイントを達成。

ポイント達成者からのアンケートやポイント対象となる施設利用及び介護予防事業の担当者から確認したところ、「健康づくりに継続して取り組むうえで本事業が励みとなっている」、「前向きに取り組む要因となっているので事業を継続してほしい」とおおむね好感度



健康長寿のまちを目指す

ある。

澤上 いきいき健活ポイント事業のメニューは、今後拡大していくのか、あるいは今回程度でメニューの内容を変えていくのか。

町長 今年度初めて実施するので、対象者が何人ぐらいか、健診受診率の向上などの効果はどの程度か、未知数の部分も多い。

今後の方向は、一定程度の期間にわたって継続することを前提とし、メニューを拡充し、内容を見直していく。「健活ポイント事業」は、健康長寿への取り組みにつながることを直接の目的としているが、町

民の社会参加拡大を見据えて実施し、本事業を起爆剤として「健康長寿青森県一」のまちづくりを目指すしたい。

澤上 「健康長寿青森県一」を目指すために、現役を退いた60歳以上の方々の公共施設利用料金の無料化を進める考えはないか。

町長 本年3月定例会に、榎山議員からも類似した質問があり、答弁している。

体育施設を含む公共施設の使用料は、合併時に決定後、平成22年度に見直し、平成23年4月1日から施行している。

ほとんどの市町村が年齢区分を小中高生と大生・一般の二つの区分としている。

今後、新たに高齢者区分を設定するかどうか、また、施設使用料の見直しも含めて近隣の市町村の動向も踏まえ、平成29年4月の消費税の10%施行予定に合せて、検討したい。

澤上 冬期間や雨天時に利用できるドーム建設に向けた進捗状況は。

町長 防災機能を兼ね備えた多目的ドーム整備の進め方は、6月定例会の西館秀雄議員の一般質問において答弁している

が、現在、教育委員会内で計画のたたき台を作成し、それをもとに役場内関係課の補佐級等の職員で構成する「スポーツ施設整備検討庁内ワーキング会議」を設置し、検討課題を整理している。

なお、過去に県内外のドーム施設など視察し、調査研究しているが、今年も体育関係者と一緒に山形県庄内町の屋内多目的運動場を訪問し、検討の参考にしていく。

澤上 ドームは冬期間の町民の運動量をかさ上げできる大きな健康拠点施設。建設実現に向け前進するべき。

町長 町民、議員の理解がないと前に進めない。頑張ってみたいので、お力を賜りたい。

町の財政状況と総合計画、施設概要について学ぶ

— 議員研修会 —

去る8月5日(水)、新人議員を対象とした議員研修会を開き、午前中は、町の財政状況と総合計画についての講義、午後からは各課担当者の説明とともに町内施設の見学をしました。

町議会では、4月の選挙で新たに誕生した議員を対象に議員としての心構えや町政全般について、研修の機会を設けるため、議員研修会を開催したところ、馬場議長を含め7名の議員が参加しました。

午前中は、町企画財政課職員から、町の財政状況や町総合計画の内容と進捗状況について講義を受けました。



午後からは、百石漁港や津波避難施設工事現場、古間木山排水処理施設、阿光坊古墳群ガイダンス施設建設工事現場等町内6カ所を視察しました。現場では、担当者から工事内容と進捗状況、また事業の課題等について説明を受けました。

(上) 午前の講義
(中) 百石漁港と(下) 津波避難タワーの視察



第4回定例会のお知らせ

平成27年12月3日(木) 午前10時から
おいらせ町議会では、みなさんの傍聴をお待ちしています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に、本庁舎3階の議会事務局までお越しください。

- 問い合わせ 議会事務局 (本庁舎3階)
- 電話 0178 (56) 2112

表紙写真をお寄せください

あなたの作品を「ぎかいだより懸橋」に掲載しませんか。表紙の写真を募集中です。おいらせ町の「自然」「伝統行事」「イベント」など、おいらせ町の魅力あふれる写真をお待ちしています。

詳細は、議会ホームページの確認または、議会事務局までお問い合わせください。

送付先：おいらせ町議会事務局
「議会広報写真」係

TEL：0178-56-2111 (代表)

FAX：0178-56-4364

Mail：gikai@town.oirase.aomori.jp

議会を傍聴して

道川正さん・眞知子さん (洋光台)

◎傍聴のきっかけは

正さん「青森市では行ったことあるけど、ここではどうい話をしているのか聞いておこうと思った。ブザーが鳴ってから、議員さんたちが入室するのはいかがなものかな。」

眞知子さん「全然興味なかったけど、知人の旦那さんが議員なので、どんなことを言っているのかなと思って。もっとみんな聞きにきてほしいと思ったけども。」

◎今後、どんなまちづくりを期待しますか。

眞知子さん「婦人会に入っておいらせ音頭を踊っているけど、年配の方も踊れるから、踊りのイベントがあれば広まるかな。」

正さん「お年寄りが集えるイベントがあればいいよね。」



編集後記

理化学研究所(理研)が有名になったのは、何と言つてもSTAP細胞問題からであろう。

先般、埼玉県和光市の理研本部を視察。目的は、元素を光の速さの70%まで加速する装置をこの目で確かめる為である。ビックバンからの宇宙の成り立ちの説明を受けている時、新物質「113番元素」の合成に成功した森田浩介博士が偶然通りかかり記念撮影。日本初の元素命名権を国際学会から与えられる事を願う。

さて、第3回議員全員協議会が一部非公開で実施された。開かれた議会を目指す時に、果たしていかなるものか。

議会中継は必要と思う。
議会広報編集調査特別委員会 副委員長

高坂 隆雄 記

